



Cisco Unity Connection 10.x がサポートするプラットフォーム リスト

2013 年 11 月発行

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、シスコが販売するもの、およびお客様が用意するものを含めて、Cisco Unity Connection 10.x でサポートされるプラットフォームについて説明します。

Unity Connection のインストール アプリケーションでは、このマニュアルに示す仕様またはモデルと完全に適合していない限り、サーバにインストールできないようになっています。

目次

- 「Cisco Unity Connection 10.x のプラットフォーム オーバーレイ」 (P.2)
- 「Cisco Unity Connection 仮想マシンの vCPU、vRAM、および vDisk の設定」 (P.5)
- 「その他のプラットフォーム情報」 (P.6)
- 「Cisco Unity Connection 10.x での使用がサポートされたプラットフォーム」 (P.6)
- 「Cisco Unity Connection 10.x がサポートされた現在出荷中のプラットフォームの仕様」 (P.6)



- 「Cisco Unity Connection SRSV 10.0(1) でサポートされているハードウェア プラットフォームと Cisco IOS ソフトウェア リリースの仕様」 (P.10)
- 「Cisco Unity Connection SRSV 10.0.x でサポートされる仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様」 (P.11)
- 「Cisco Unity Connection の HTTPS ネットワーキングの仕様」 (P.11)

Cisco Unity Connection 10.x のプラットフォーム オーバーレイ

- 「現在出荷中の Unity Connection 10.x サーバの仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様」 (P.2)
- 「プラットフォーム オーバーレイ仕様に関連する追加情報」 (P.5)
- Unity Connection 10.0(1) 以降のリリースでは、仮想マシンはインストールでサポートされている唯一のプラットフォームです。表 1 「現在出荷中の Unity Connection 10.x サーバの仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様」に、仮想マシンに Unity Connection 10.x をインストールする場合の仮想化仕様、およびユーザとポートの制限を示します。

各プラットフォームの、それ以外の仕様とサポートの制限については、次の各項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection SRSV 10.0(1) でサポートされているハードウェア プラットフォームと Cisco IOS ソフトウェア リリースの仕様」 (P.10) : 物理コンフィギュレーションでの使用がサポートされたプラットフォームだけが説明されています。



(注)

Cisco Unity Connection 10.x は、プラットフォームに事前にインストールされていません。Unity Connection 10.0(1) 以降は、仮想マシンにのみインストールできます。

現在出荷中の Unity Connection 10.x サーバの仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様

ここでは、仮想マシンにインストールされた Cisco Unity Connection 10.x の仕様および制限について説明します。

仮想環境に対するシステム要件の詳細については、『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』(リリース 10.x) の「Requirements for Installing Cisco Unity Connection on a Virtual Machine」の項を参照してください。次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html

プラットフォーム/部品番号については、

http://docwiki.cisco.com/wiki/Virtualization_for_Cisco_Unity_Connection のリンクを参照してください。

表 1 現在出荷中の Unity Connection 10.x サーバの仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様

	最大で 100 ユーザ 対象の仮想プラ ットフォーム オー バーレイ	最大で 1,000 ユー ザ対象の仮想プ ラットフォーム オーバーレイ	最大で 5,000 ユー ザ対象の仮想プ ラットフォーム オーバーレイ	最大で 10,000 ユーザ対象の仮想 プラットフォーム オーバーレイ	最大で 20,000 ユーザ対象の仮想 プラットフォーム オーバーレイ
vCPU (仮想プロ セッサの数) ¹ コアお よびコアあたりの速 度 ²	1@ 最低 2.0 GHz	1@ 最低 2.13 GHz (2.13 GHz 予約済 み)	2@ それぞれに最 低 2.53 GHz (5.06 GHz 予約済 み)	Xeon 5600 および 7500 プロセッサの 場合：それぞれに 最低 2.53 GHz (5.06 GHz 予約済 み) または Xeon E7 プロセッ サの場合：それぞ れに最低 2.4 GHz (4.8 GHz 予約済 み)	Xeon 5600 および 7500 プロセッサの 場合：それぞれに 最低 2.53 GHz (10.12 GHz 予約 済み) Xeon E7 プロセッ サの場合：それぞ れに最低 2.4 GHz (9.6 GHz 予約済 み)
vRAM (仮想 RAM の容量)	4 GB 予約済み	4 GB 予約済み	6 GB 予約済み	6 GB 予約済み	8 GB 予約済み
vDisk (仮想ハード ディスクのサイズ)	1 x 160GB	1 x 160 GB、ファ イル システムを 64KB ブロックで アライメント	1 x 200GB、ファ イル システムを 64KB ブロックで アライメント	最大 10,000 ユー ザまでの .ova ファ イル 3 個を使用可 能 • 2 x 146 GB • 2 x 300 GB • 2 x 500 GB ファイル システム を 64KB ブロック でアライメント	最大 20,000 ユー ザまでの .ova ファ イル 2 個を使用可 能 • 2 x 300 GB • 2 x 500 GB ファイル システム を 64KB ブロック でアライメント
Unity Connection でサポートされるテ ナントの総数	-	5	20	30	60
仮想マシンごとに使用 可能な合計ポート 数：音声 + TTS + 音声認識	8 ³	24	100	150	250
クラスタ内の各仮想 マシンで使用可能な 合計ポート数	16	48	200	300	500
同時発生ビデオ コー ルの総数	0	0	0	0	35
クラスタの同時発生 ビデオ コールの総数	0	0	0	0	40
メールボックスを持 つユーザの総数	100 ⁴	1,000	5,000	10,000	20,000

表 1 現在出荷中の Unity Connection 10.x サーバの仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様 (続き)

	最大で 100 ユーザ 対象の仮想プラ ットフォーム オー バーレイ	最大で 1,000 ユー ザ対象の仮想プ ラットフォーム オーバーレイ	最大で 5,000 ユー ザ対象の仮想プ ラットフォーム オーバーレイ	最大で 10,000 ユーザ対象の仮想 プラットフォーム オーバーレイ	最大で 20,000 ユーザ対象の仮想 プラットフォーム オーバーレイ
Cisco Personal Communications Assistant のユーザ 数	100	1,000	5,000	10,000	20,000
アクティブクライ アントの合計数： Cisco Unified Personal Communicator + サードパーティ製 IMAP + Cisco Unity conferencing + Cisco Unified Mobile Advantage + RSS + Phone View ユーザ (すべ て IMAP アイドル クライアントと見な す。「IMAP アイド ルクライアント」 (P.5) を参照)	0	1,000	5,000	10,000	20,000
LDAP 社内ディレク トリ ユーザの合計数	100	1,000	5,000	10,000	20,000
保管されるメッセ ージの概数、G-711 コーデック、毎分	75,000	72,944	137,298	.ova ファイルにより 異なる。 <ul style="list-style-type: none"> • 2 x 146 GB の 場合： 252,831 • 2 x 300 GB の 場合： 514,287 • 2 x 500 GB の 場合： 919,992 	.ova ファイルにより 異なる。 <ul style="list-style-type: none"> • 2 x 300 GB の 場合： 514,287 • 2 x 500 GB の 場合： 919,992
HTTPS ネットワー ク内の Unity Connection の場所	2	10	10	25	
サポートされている Connection SRSV ブランチの総数	0	5	10	10	10

- VMware ハイパーバイザにはプロセッサ コアが 1 つ以上使用可能である必要があります。
- 仕様ベースのプロセッサ要件については、
http://docwiki.cisco.com/wiki/Specification-Based_Hardware_Support#Processor_Requirements を参照してください。

3. SRE-910 および UCS E ブレードの場合、Cisco Unity Connection Administration で 8 つを超えるポートを作成できますが、パフォーマンスの問題を防ぐためにポートの作成は最大 8 つにしておくことを推奨します。
4. SRE-910 および UCS E ブレードは、ボイスメールだけで 100 人のユーザをサポートします。

プラットフォーム オーバーレイ仕様に関連する追加情報

- 「クラスタ Cisco Unity Connection」 (P.5)
- 「IMAP アイドル クライアント」 (P.5)

クラスタ Cisco Unity Connection

Unity Connection のクラスタ機能では、クラスタに設定された 2 台の Unity Connection サーバによって、ハイアベイラビリティ音声メッセージングが提供されます。アクティブ アクティブ ハイアベイラビリティとも呼ばれるこのコンフィギュレーションでは、1 つのノードが 2 台のサーバで構成され、ポート数はサーバ モデルによって異なります。ノード ポートの合計数は追加的なものです (単一のノードは最大 500 ポートまでサポート可能ですが、サポートされる合計ユーザ数はプライマリ サーバにのみ適用可能です)。クラスタのプライマリ サーバおよびセカンダリ サーバは、CPU とメモリの総量を一致させないと設定がサポートされません。

クラスタで使用している 2 つのサーバ間のハード ディスク領域が一致しない場合、小さい方のディスク領域がクラスタの各サーバのストレージ容量を決定します。『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』(リリース 10.x) の「Requirements for a Cisco Unity Connection 10.x Cluster」の項も参照してください。次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html

IMAP アイドル クライアント

アクティブ クライアントの合計数の計算では、IMAP アイドルをサポートした IMAP クライアントの使用が前提となっています。Cisco Unified Personal Communicator 7.0 およびそれ以前、Cisco Unified Mobility Advantage、および Cisco Unified Mobile Communicator は、IMAP アイドルをサポートしていません。その結果、Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするこうしたクライアント (IMAP アイドルをサポートしないクライアント) のアクティブ インスタンスごとに、4 つのアクティブ クライアントとカウントされます。

Cisco Unity Connection 仮想マシンの vCPU、vRAM、および vDisk の設定

仮想マシンに Unity Connection を簡単に配置できるように、シスコでは表 1 (P.3) に示す、仮想プラットフォーム オーバーレイ用の OVA テンプレートを用意しています。



注意

仮想 CPU の数、仮想 RAM の容量、仮想ディスクの数またはサイズの変更はサポートされません。

また、OVA テンプレートでは仮想マシンの仮想ディスク上のファイル システムが、64-KB ブロックに調整されるため、1 秒間あたりのストレージ入出力操作数 (IOPS) が向上します。

最新の OVA ファイルのダウンロードについては、『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』の「Installation and Upgrade Information」の項を参照してください。次の URL から入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html

新規 Unity Connection 仮想サーバのインストール時に OVA ファイルを配置する方法については、『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』（リリース 10.x）の「**Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 10.x System**」の章を参照してください。次の URL から入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/installation/guide/10xcucigx.html

物理サーバから仮想サーバへの移行時に OVA ファイルを配置する方法については、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』（リリース 10.x）の「**Migrating from a Cisco Unity Connection Physical Server to a Unity Connection 10.x Virtual Server**」を参照してください。

Unity Connection と同じ物理サーバに、他のユニファイド コミュニケーション アプリケーションを展開する方法の詳細については、『*Unified Communications Virtualization wiki*』を参照してください。次の URL からアクセスできます。
http://docwiki.cisco.com/wiki/Unified_Communications_Virtualization

その他のプラットフォーム情報

- ・「[Unity Connection 10.x へのアップグレード時の Unity Connection サーバの交換](#)」（P.6）

Unity Connection 10.x へのアップグレード時の Unity Connection サーバの交換

MCS サーバは Unity Connection 10.x の使用をサポートしておらず、これらのサーバ上で Unity Connection 10.x をアップグレードしたり、これをインストールしようとしたりとすると失敗します。Unity Connection 10.x へのアップグレード時の物理サーバから仮想マシンへの移行の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/upgrade/guide/10xcucrugx.html の『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』（リリース 10.x）の該当する章を参照してください。

Cisco Unity Connection 10.x での使用がサポートされたプラットフォーム

Unity Connection 10.0(1) 以降でサポートされる仮想プラットフォームの詳細な仕様については、http://docwiki.cisco.com/wiki/Virtualization_for_Cisco_Unity_Connection を参照してください。

Cisco Unity Connection 10.x がサポートされた現在出荷中のプラットフォームの仕様

- ・「[Cisco Integrated Services Router Generation 2 \(ISR G2\) の現在出荷中のブレードサーバ](#)」（P.7）
- ・「[仮想コンフィギュレーションがサポートされた現在出荷中のプラットフォーム](#)」（P.9）

Cisco Integrated Services Router Generation 2 (ISR G2) の現在出荷中のブレード サーバ

- 「Cisco SRE-900 および SRE-910」 (P.7)
- 「Cisco UCS E140S」 (P.7)

Cisco SRE-900 および SRE-910

表 2 Cisco SRE-900 および SRE-910 プラットフォーム

機能	説明
モデル番号	SM-SRE-900-K9 SM-SRE-910-K9
サプライヤ	Cisco
フォーム ファクタ	SM
据え付け	ラックマウント
物理プロセッサ	Intel Core2 Duo、1.86 GHz
物理 RAM (出荷時)	4 GBDRAMs (デフォルト) または 8 GB
物理ハードディスク	500 GB SATA x 2 (非 RAID モードでは 1 TB) 5400 rpm (SRE 900) 7200 rpm (SRE 910)
RAID コントローラ	オンボード SATA
RAID の設定	RAID 0 または 1 (アプリケーションにより異なる)
使用可能な合計ディスク容量	1 TB
ハードウェアの再設定が必要	なし
その他の情報	http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/ifmodule/sre/prodlit/data_sheet_c78-553913.html

SRE-900 および SRE-910 の詳細については、
http://docwiki-dev.cisco.com/wiki/Cisco_Unity_Connection_on_UCSE を参照してください。

Cisco UCS E140S

表 3 Cisco UCS E140S プラットフォーム

機能	説明
モデル番号	UCS E140S
サプライヤ	Cisco
フォーム ファクタ	シングルワイド ブレード
物理プロセッサ	Intel® Xeon E3 1105 C 1.0GHz 25W クアッド コア プロセッサ

表 3 Cisco UCS E140S プラットフォーム (続き)

機能	説明
物理 RAM (出荷時)	8 GB (デフォルト、8 GB DIMM X 1)、最大 16 GB (8 GB DIMM X 2)
物理ハードディスク	最大 2 つ : <ul style="list-style-type: none"> 7200 RPM SATA : 1 TB 10,000 RPM SAS : 900 GB 10,000 RPM SAS SED : 600 GB SAS SSD SLC : 200 GB
RAID コントローラ	LSI MegaRAID コントローラ
RAID の設定	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア RAID 0、1 LSI MegaRAID コントローラ
使用可能な合計ディスク容量	1 TB
ハードウェアの再設定が必要	なし
その他の情報	http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/ucs/ucs-e/p/rodlit/data_sheet_c78-705787.html

UCS E-140S の詳細については、
http://docwiki-dev.cisco.com/wiki/Cisco_Unity_Connection_on_UCSE を参照してください。

Cisco UCS E140D、E140DP、E160D、および E160DP

表 4 Cisco UCS E140D、E140DP、E160D、および E160DP プラットフォーム

機能	説明
モデル番号	UCS E140D、E140DP、E160D、E160DP
サプライヤ	Cisco
フォーム ファクタ	ダブルワイド ブレード
物理プロセッサ	Intel® Xeon® E5-2418L 2.0GHz クアッドコア プロセッサ Intel® Xeon® E5-2428L 1.8GHz 6 コア プロセッサ
物理 RAM (出荷時)	8 GB (デフォルト)、最大 48 GB (16 GB DIMM X 3)
物理ハードディスク	最大 3 つ (Cisco UCS E140D または E160D) または 2 つ (Cisco UCS E140DP または E160DP) : <ul style="list-style-type: none"> 7200 RPM SATA : 1 TB 10,000 RPM SAS : 900 GB 10,000 RPM SAS SED : 600 GB SAS SSD SLC : 200 GB
RAID コントローラ	LSI MegaRAID コントローラ

表 4 Cisco UCS E140D、E140DP、E160D、および E160DP プラットフォーム (続き)

機能	説明
RAID の設定	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS E140D、E160D : ハードウェア RAID 0、1、5 • Cisco UCS E140DP、E160DP : ハードウェア RAID 0、1、 • LSI MegaRAID コントローラ
使用可能な合計ディスク容量	1 TB
ハードウェアの再設定が必要	なし
その他の情報	http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/ucs/ucs-e/p/rodliit/data_sheet_c78-705787.html

UCS E-140D、E140DP、E160D、および E160DP の詳細については、
http://docwiki.cisco.com/wiki/Cisco_Unity_Connection_on_UCSE を参照してください。

仮想コンフィギュレーションがサポートされた現在出荷中のプラットフォーム

Unity Unity Connection 10.0(1) 以降のリリースは、仮想マシンにのみインストールできます。仮想コンフィギュレーションの現在出荷中のプラットフォームの詳細については、

http://docwiki.cisco.com/wiki/Virtualization_for_Cisco_Unity_Connection を参照してください。

Cisco Unity Connection SRSV 10.0(1) でサポートされているハードウェア プラットフォームと Cisco IOS ソフトウェア リリースの仕様

ここでは、サポート対象のハードウェア プラットフォームとハードウェア プラットフォーム Cisco Unity Connection SRSV をサポートするために必要な最低限の Cisco IOS ソフトウェア リリースを示します。

表 5 Cisco Unity Connection SRSV の仕様

シスコのプラットフォーム	SM-SRE-900-K9 の Connection SRSV	SM-SRE-910-K9 の Connection SRSV	UCS E 140S	UCS E140D、E140DP、E160D、および E160 DP
Cisco 2911	15.1(3)T	15.1(3)T	15.1(3)T	15.1(3)T
Cisco 2921				
Cisco 2951				
Cisco 3925	15.1(3)T	15.1(3)T	15.1(3)T	15.1(3)T
Cisco 3945				
Cisco 3925E	15.1(3)T	15.1(3)T	15.1(3)T	15.1(3)T
Cisco 3945E				



(注)

異なる Cisco IOS ソフトウェア リリースは、使用されている Cisco Unified Communications Manager Express または Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) のバージョンによって、必要になる場合があります。詳細については、Cisco Unified Communications Manager Express <http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps4625/index.html> で入手できるマニュアルを参照してください。

Cisco Unity Connection SRSV 10.0.x でサポートされる仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様

ここでは、Cisco Unity Connection SRSV でサポートされる仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様を示します。

表 6 Cisco Unity Connection SRSV 10.0.x でサポートされる仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様

	仮想プラットフォーム オーバーレイ
vCPU (仮想プロセッサの数) コアおよびコアあたりの速度	1@ 最低 2.0 GHz
vRAM (仮想 RAM の容量)	4 GB
vDisk (仮想ハードディスクのサイズ)	1 x 160 GB
使用可能な音声ポートの合計数 ¹	8
メールボックスを持つユーザの総数	200
保管されるメッセージの概数、G-711 コーデック、毎分	72,944
パブリック同報リストの数	500
コール ハンドラの数	200
サポートされる言語の数	2

1. 8 ポート G.711 または G.729a (結合 TUI または TTS) および 2 ポート iLBC または G.722

Cisco Unity Connection の HTTPS ネットワーキングの仕様

ハブスポーク トポロジに基づいて強固に接続されたネットワークを構成するには、1つ以上の Cisco Unity Connection サーバまたはクラスタにリンクするために HTTPS ネットワーキングを使用できます。

詳細については、次の URL の「*Requirements for HTTPS Networking*」を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>